

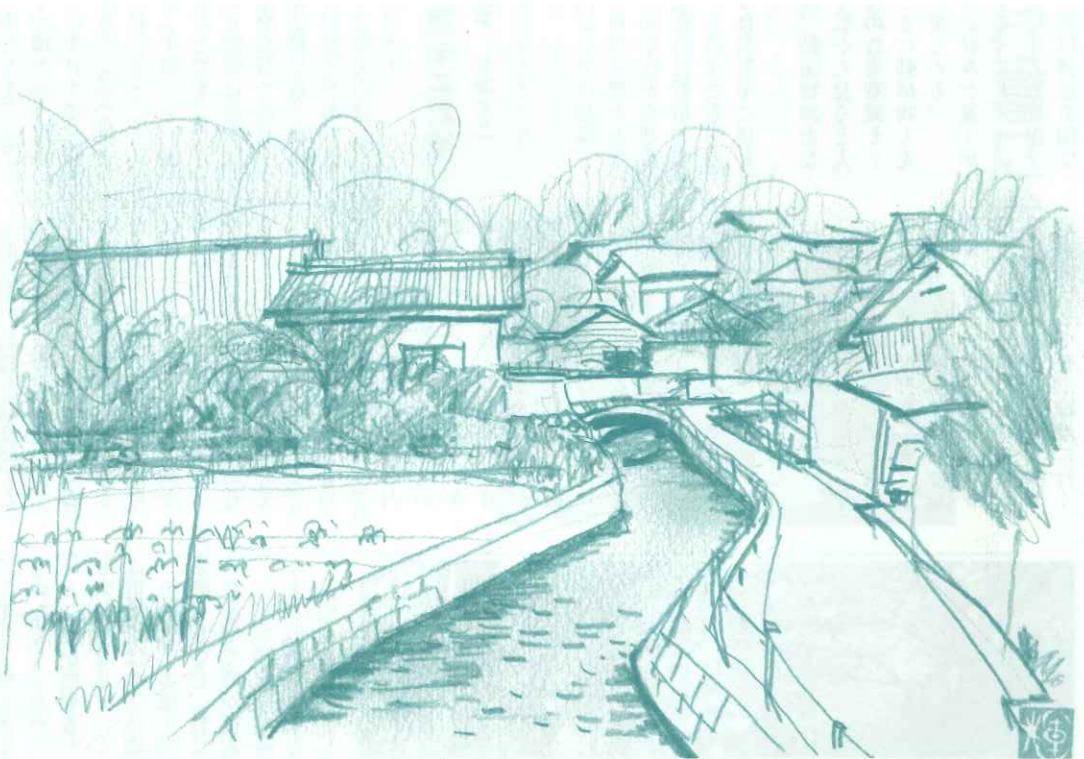


緑のまち

第7号 平成3年3月27日

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191 東京都日野市神明1-12-1 日野市役所内
電話 0425(85)1111 内線265~7



緑はこころのいずみ
(応募標語集より)

豊田用水

日野市は都下随一の穀倉地帯として知られ栄えてきました。多摩川・浅川の平地には、この水を利用した水田が多くあり、(水田500ha畑地500ha)このように呼ばれたものです。豊田地区の耕地整理は、明治43年6月起工、大正2年3月竣工・施工費3万円、面積は62haです。同時にこの豊田水路ができました。灌漑用水は浅川より取水(平山橋の下)し、農業用水又、地域の人々の生活水として親しまれてきました。

当時の耕地整理は、お金の借入、予期せぬ浅川の大洪水等、大変な苦労があったようです。しかし、完成後は灌水、作業、土地利用の面等、その利益は計りしれないものがありました。

市内でも、この地域は最後まで水田地帯として残るであろうと想定していましたが、区画整理の話しがかちあがり、水田は全部畑地に変わろうとしています。今後、この用水路もどうなってしまうのでしょうか。



全市民参加の緑化活動を

理事長 中村敏夫

昨年八月に理事長に就任して、三月で八ヶ月になりました。この間、四つの大きな事業を柱として、それを支える予算にしたがって環境緑化協会の活動をしてまいりました。正直な話、事業活動の範囲なり種類の多さに驚き、責任の重さを痛感している次第です。

平成三年度の事業計画については、理事会等で鋭意検討し、大筋は二年度の延長線上でさらに手を加えております。当協会も財団法人として産声をあげてから二年経過しました。この経験を生かし、よりキメの細かい、実りある活動にするための計画を練ってきましたが、「みどり」を守り、増やすための基礎固めの時期と言えましようか。

「ローマは一日にしてならず」の諺ではないですが、決してあせらず地道に一步一步築きあげてまいりたいと思えます。それには、市のキャッチフレーズ「緑と清流の日野

市」に向かって僅かずつでも協力と努力をしていただけたら、とお願ひする次第です。

一方では、みどりを「守る」ことの困難さが横たわっているようです。いま日本で、いや世界のいたるところで緑と環境が破壊されようとしています。そして「平和」も。誠に嘆かわしいことです。

幸い、わが日野市は全市民が環境緑化協会会員であり、全市民が緑化活動に取り組めることを誇りに思っております。よろしくご協力のほど、願ひ申し上げます。

日野の自然ミニ散策

理事 片岡尤二

日野市に移り住んで33年になる。

昭和30年代は今では想像も出来ない程、自然の豊かなまちであった。40年代から都市化が進んで現在の日野市の姿になったが、その中でも市内の数箇所には自然散策に格好の場所がある。

この33年間、動植物調査などをしている私から見ると大きく変貌し種の数も激減しているが、まだまだ動植物も十分に散策して楽しめる。

人それぞれに好みが違うが私のお勧めするベストスリーは第1が東豊田にある都保全地域でもある黒川清流公園で

初夏の5月中旬頃、エゴノキの純白の花がハリエンジュと咲き競い、花が散った頃には一面に白い絨毯を敷き詰めたようである。野鳥も多い。

第2は南平丘陵公園、ここは丘陵地に手を入れて整備したが急な階段のところを除けば格好なコース。4月下旬からマルバアオダモ、ガズミなどにタマノカンアオイの花も楽しめ夏にはセミが鳴いて「せみしぐれ」が味わえる。

第3は東光寺緑地。早春のアズマイチゲに始まりカタクリの花が満開の頃は日野市内にこんなにも素晴らしい所があったのかと：やがて芽吹き

の美しい陽春となり夏の8月中旬にはキツネノカミソリが橙桃色の花を雑木林の一面に開く。林の上は日野市内にこんなにも広大な畑地があるかと驚く。昔の東光寺大根は今栽培が少なくなったが、いろいろな野菜を見ることが出来る。キジがケンケンと鳴くのかな味わいも私には、捨てがたい場所だ。

健脚の方には百草園から平山城址公園までの多摩丘陵が楽しい、色々な野草も多くてニオイタツツボスミレ、キンラン、ギンラン、ササバギンラン、ヒメハギなどがある。昆虫に興味がある方は、少し足を伸ばして長沼緑地に行く

ことをお勧めしたい。程久保緑地も捨てがたい。大きなホウノキの花、キバナアキギリ、センブリなどの花も少なくなつたが、まだまだ見ることが出来るし野鳥の声も楽しめるし、ハルゼミの声は市内では唯一の場所である。その他、多摩平の並木道も素晴らしいし、特にユリノキの花が咲く時が最高。一年、特定の場所を歩くと今までに発見出来なかつた事が沢山あることでしょう。



緑化運動標語

入選者決定さる！

首都緑化推進委員会では、昨年10月緑化運動の標語を募集しました。

東京都内小・中学生の部42点の中より、日野市で次の方が入選しました。

一席 大好きだみどり
輝くほくの街

二席 この町に緑と
風とうるおいを

七小六年 清水 陽介
佳作 たやさずに守り
続けるこの緑
七小六年 小池 一嘉

人事異動により左記の緑化協会評議員が変更になりました。(順不同・敬称略)

新評議員	旧評議員	所属
西沢 光	松浦憲男	働東芝
下田隆康	三上富士雄	コニカ(働)
小川洋介	広瀬英二	日野自動車工業(働)

写真展に皆様のご参加を

緑化協会では春の緑化月間にちなみ、写真展(4月25日～5月20日迄)を実施します。テーマは「春のあしおと」です。市内在住、在勤、在学の方が対象となります。特にすぐれている方には特選、入選、佳作等の賞をさしあげます。

秋の緑化月間行事に参加して

園芸講座に参加して

西平山 宮本康子

今年はず復はがきで申し込みが出来ました。受け付け当日で定員いっぱいという悪条件が改善されて、やっと私にも番がまわって来て、受講希望の長年の夢がかないました。

作業手順は意外に簡単で、いけ花の心得があれば、日頃のセンスが更に光るところだなどという思いです。うれしかったのは、この講



日野駅からわずか車で数分の会場、東光寺緑地は、田園地帯に住宅の点在する一角にある雑木林の丘陵でした。ふもとの一角に炭焼き小屋が建ち、道路わきでのたき火が、緑地のたたずまいと共に、参加者を郷愁に誘います。

かつて雑木林の萌芽更新の目的で木を伐採し、それを炭にして燃料としていたこと、炭焼きの方法やしくみ、見直されて来た炭の優れた浄化力などについて説明を聞き、美しい音色を出す炭の風鈴や、

親子炭焼き教室に参加して

百草 小林恵美

今、十二月二十四日・スタンプイOKのつぼみたちが、出番を待っているところです。



炭焼きの過程でできる栄養素に豊む木酢液などを見せてもらった後、実際に炭焼きに移ります。原始的な方法でもできるのを教えて頂くと、やってみて菜園に使ってみたいという気持ちも起ります。

森林をはじめ自然の価値を再認識し、緑地保全に力を注ぐ日野市政に新たな感動を覚えしました。たき火で焼いた焼き芋をほおばり、自然にも接しられ、子供たちも満足な一日でした。

平成三年度緑化協会では左記の計画で実施いたします。緑化推進事業への市民の皆様のご参加をお待ちしております。

平成三年度事業計画

(平成三年四月一日から平成四年三月三十一日)

(財)日野市環境緑化協会

一 緑化推進に関する普及啓発事業

- (一) 緑化月間行事 (春四月・秋十一月 家庭緑化・地域清掃・地域緑化)
 - (二) 緑の羽根募金 (市と共催)
 - (三) 講習会 (四回)
 - (四) 自然観察会 (二回)
 - (五) 新入学児童に鉢花の贈与
 - (六) 会報「緑のまち」発行 (二回)
 - (七) 自然保護、緑化についての作文集作製
 - (八) みどりの写真展 (春・秋二回)
 - (九) 盆栽山野草展 (市と共催)
 - (十) 緑の手引書の配布
- 二 緑化推進に関する事業活動
- (一) 入学、入園記念樹の配布
 - (二) 幼児 (五才児) 種子集め運動
 - (三) 花とみどりの健康相談
 - (四) 育苗事業 (野草、葉草、花の里親・里子運動、ドングリ)
 - (五) 公園及びコミュニティ花壇の花弁植つけ
 - (六) 樹名板の取り付け
- 三 緑化推進に関する調査研究
- (一) 緑化マップの作成
 - (二) 菊花および公園・緑地等の受託事業
 - (三) 菊花事業
 - (四) 花卉植付事業
 - (五) 炭焼き事業
 - (六) 花卉栽培育苗事業
 - (七) 公園等除草事業
 - (八) グリーンベルト等除草事業

春の緑化月

期間 平成3年4月1日～4月30日

テーマ まちに緑と清流を！くらしに花とうるおいを！


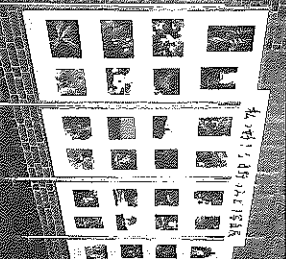
間行事内容

主催 日野市

(財)日野市環境緑化協会

行 事 名	日 時	場 所
家庭緑化の日	4月7日(日) 午前10時～午後3時 ★雨天決行	日野中央公園
園芸相談所		東京南農協七生支店
盆栽山野草展	4月7日(日)～9日(火) 午前9時～午後4時	市役所 101会議室
生け垣講習会	4月19日(金) 午前10時～正午	緑化センター (日野中央公園南側)
地域緑化 清掃の日	4月21日(日) 午前9時～正午 ★雨天中止	学校 緑地 公園 その他
園芸講座	4月21日(日) 午後2時～午後4時	生活・保健センター 2階講座室
植物写真展	4月25日(休)～5月20日(日) 午前9時～午後5時	市役所 市民ホール

4月7日は苗木の無料配布をします。
皆様の参加を

内 容	客
1.苗木及び花鉢無料配布 (小梅またはゼラニウム) 午前10時から先着1000名 2.5才児以下の幼児に風船と花の種子を配布 午後1時から先着1000名 3.花とみどりの健康相談 菊花、庭木、花卉 4.即売……草花、庭木、肥料等 5.図書と絵ハガキ・日野絵図等販売 6.緑の羽根募金 (会場で街頭募金)	1.苗木及び花鉢無料配布 (小梅またはゼラニウム) 午前10時から先着500名 午後1時から先着500名 2.5才児以下の幼児に風船と花の種子を配布 3.緑の羽根募金 (会場で街頭募金)
盆栽の盆栽と山野草展示 「生け垣の作り方と手入れ」 講師 日野緑進会 (公園緑政課) *参加申し込み電話で先着順40名	
地域緑化……日野第八小学校・旭が丘小学校 地域清掃……旭が丘・下耕地・神明グリーンベルト・東光寺緑地・東豊田緑地保全地域・吹上公園 七生丘陵散策路ほか	
テーマ「薬草について アマドコロ・ナルコユリ」 講師 田中孝治先生 元東京都薬用植物園長 *参加申し込み 電話で先着順50名	
テーマ「春のあしおと」……市民の皆さんが市内で撮影した風景・植物写真展	

農協・花卉生産組合等出店あり。
お待ちしております。

自然の大切さと緑について

作文紹介

小学校6年生を対象として

(1)自然の大切さについて

(2)緑についてと題して作文を

募集いたしました。中でも、
緑を強調できる文、又、夢の

募集作文

緑について

日野市立南平小学校

平原 早苗

～自然が失なわれている～

このことばはずいぶん前から聞いているような気がします。ほんの何十年前前にはとても豊かだったらしいのに。東京だってかつては都市の中に自然をもつ美しい町だったといわれているらしいのに。自然をこわすことは簡単だけれど、一度破壊された自然をもと通りにするのは大変なこと。それを知っていながらなぜ人間は自然をこわしていくのだろうと思うことがあります。私はこのままで十分幸せだし、これ以上いろいろ、マンションとか、ゴルフ場とかができて便利になっても、ただ自然が消えていくとしか

ある文等を基準にして、10編を選んでいただきました。

5編は会報『緑のまち』第6号に掲載し、今回は残り5編を紹介いたします。

純粋な子供心が良く現われており、胸をうたれます。

思えないような気がします。

緑は、人間にいろいろな物をくれます、この間、「川と森と人間」で勉強をしました。

森はたくさん水をたくわえていてくれたり、人間が生きていく上で欠かすことのでき

ない酸素や、いろいろな物をくれるとその時しっかりわか

りました。本当にたくさん物

をもらっているのに、人間

は今まで、お返しをするでも

なく、木や草花の命をうばっ

てきました。そして、緑がな

くては生きていけない動物や

虫達の命も。...

地球は人間だけの物ではないのに、少しは自分達の方が

動物達より利口だから、と思

い、こんでいる人の方が多いよ

うな気がします。本当は、動

多いと思います。私達が住む日野に来て、「いなかだ、いなかだ」という人もいるけれど、そんな人を見ると、「いなかのどこが悪いの。緑がたくさんあってなにか悪いの。都心のよこれた空気よりよっぽどましよ。」といった言

いとなりません。そして、も

っともつと緑が増えるように

緑を守る運動とかが大きくな

るといいな、と思います。

それに、自分達が書いたポス

ターも、心をこめて書いたつ

てことをたくさんの人に知っ

てもらいたいと思います。そ

して、少しでも多くの人が緑

についていいという気持ちにな

ってけるといいと思います。

私は、見ているだけで、人

の心をなごませてくれる緑は

とても大切なものだと思います。



日野の緑

日野市立東光寺小学校

荻安 美緒

私たちの住んでいる日野には、緑がたくさんあります。

小学校の裏山には、木がたくさんで、クワガタなどもみつ

かります。近くの神社や公園

にも、いっぱいいろいろな木

や草や花があります。神社で

は夏になると、セミがいます。

私のいなかは、福井県です。

福井の方は、日野よりも、も

っともつと緑があります。森

や林などが、家のすぐ近くに

あるし、カタクリや、めずら

しい草花がたくさんさいてい

ます。

日野は、そんな所には勝て

ないけれど、都内の中では、

いちばん緑があると思います。

春は土手の所にいっぱい花が

さくから、小さな女の子たち

くしていただけます。でも、私は一つだけいやなことがあります。それは、川がきたないことです。木や草は、とてもきれいなのに、日野の川は、きれいではありません。お母さんたちの話によると、むかしはとてもきれいで、夏は多摩川でおよいだそうです。でも、少したつにつれて、犬のフンやきたないものを流す人が多くなり、あんなにきたなくなりました。

でも、私はこんな日野が好きです。新宿の方とかは、森なんかなくてビルばかりです。それにくらべて日野はこんなにあそべる自然があります。

私は、もつとこの日野市の自然をいかして、きれいにしたいです。



緑の大切さ

日野市立日野第七小学校
川船 卓也

多くの家の窓からは、帯のような形の小さな林が見下ろせる。春になると深緑色の葉の上に、黄緑色のやわらかそうな若葉が出ている。その配色がすばらしいと思う。

この林のはじの方に、大きな天然のふじの木がある。つるは、いろいろな方向へ、勝手に伸びていて、ほくが、はじめてふじの花が満開に咲いたのを見た時は、紫色ががすんでいて、まるで四次元の世界に入ったような気がした。

そして今は夏である。黄緑色だった若葉が今では深緑色に変わっている。そして、せみの声がぎんぎん聞こえる。風のない、辺りが死んだような時でも木の一番でつべんの葉だけは、チロチロ動いている。ほくは、木も生きているんだなと思った。強い風がふいた時は木全体がゆらゆら動いて、ざわざわと風の音が聞こえてくるようだ。

この林には、小さな赤い実のなっている木がある。この木に、よくおながやしじゅうからやすずめなどが飛んでくる。周り中ビルディングや家の中でこの林は、鳥たちにと

つとでも大切な場所なのだろう。鳥たちが安心して休める、こういう場所が少しずつ増えていくようにほくは願っている。

今、日本には、一億二千万の人が住んでいる。その一人一人が一つぶの種をまけば、一億二千万個の花がさく。また、その一人一人が二つぶの種をまけば二億四千万個の花がさく。そうしたらほくは、すごいことだと思う。そういふふうにはほくたちが協力して植物を大切にしていいたら、緑は必ず増えていくだろう。だからみんな協力して、少しずつ緑を増やしていきたいと思う。

自然について

日野市立仲田小学校

佐藤 愛子

「自然」ということばを頭にかかえて、一番はじめにパッと思いつく色は、緑色です。その緑色が、現在では少なくなっています。パッと見れば、大きなビルばかりです。つい最近まで、緑でいっぱいだった自然も、今はもうありません。私達は、自然や緑がどんな役割を果たすかを、真剣に考えたことがあまりありません。

自然は、今の地球からとお

いそんざいに、近づいていっています。それは、私達が自然を愛したり、大切にしたり、守ろうとしたりしないからだだと思います。自然や緑や木だつて生き物ですから、色々と人々のために働いています。それを人々はふみにじって、木をきつたりして、自然を壊かしています。それを、もし、自然がものごとを考えたりにできていたら、今ごろ、人々に逆しゅうしていると思います。もし、それが本当だったら、人々は反抗できるでしょうか？ 私は、たぶんできないと思います。人々にうらざられた気持ちは何よりも大きいものですから、いくら人々が強い力を発揮できたとしても、自然にはかなわないだろうと思います。

また、都会の木は弱々しく、なぜかせつなげですが、山奥やいなかの木は、ゆうゆうと大きくあたたかいです。デーソとかまえた、あたたかい大きな自然、それが今大切だろうと思います。

そして、それをつくりあげていくのは私たちです。そうです。なにもかも、私たちがつくりあげていくのです。自然をつくりだすのも、自然を壊かきするの、すべて、私たちがやるのです。だから、今、自然のことを考えてあげ

るのは、私たちの仕事です。いくら頭がよくても、こういう地球のために考える力をもたなくてはダメです。なので、これからは自然のことを考えるのは私達の役目です。緑といえば、自然自然といえは、緑だと、いつも心においておきたいものです。



大切な自然

日野市立平山台小学校
宮崎 理子

私たちがかよっている学校は、緑に囲まれた学校です。学校に初めて来た先生は、「緑に囲まれた、とてもいい所です。ね」と、ほとんどの先生が、あいさつの時に、そう言うことをお話しします。

その緑の中で、季節ごとに、いろいろな遊びをします。まず春は、つくしやよもぎを、友達とビニールいっぱい採ったり、お弁当を持ってお花見に行ったりします。

夏には、夜、かにさされながら、お見ちゃんたちと、かぶと虫やくわがた採りに行きます。秋は、どんぐりや、くりを拾いに行きます。おしりにダンボールをしき、坂にな

っているしばふの上をすべる、草すべりなどもします。冬は、雪が降ったらソリスベリに行き、全身ビショビショになつて家に帰ってきます。

このように、テレビなどでは楽しい遊びでも、自然の中では数多く楽しめます。その上に、自然は、私たちが生きていくために必要な酸素をたくさん出してくれます。だから、都会の空気よりいなかのほうが空気がいいと、よく聞きます。それは、いなかのほうが自然が多くのことだからだと思います。

おばあちゃんが私たちの家に来たときは、夕方になるといっしょに山に散歩をしに行きます。そうすると、おばあちゃんが、「これ何の木かしつてる」と聞いて、わからない時は教えてくれます。そして、その辺に生えているお花をいっばいつんで帰り、家の花びんにかざります。

自然の中を歩くと、人の心が和やかになります。自然は、遊ぶ事だけでなく、大切な酸素を作ってくれたり、いろいろな働きもしてくれます。このような大切な自然がなくなつてしまつたらこまります。だからみんな、大切な自然をできるだけ多くのこし、まもつてあげたいと思います。

公園清掃を実施して

早いもので、たんぼぼの家が公園清掃の仕事を請け負って10ヶ月を迎えようとしています。作業所の利用者と職員とで行う月に2度の「外勤」は、普段の室内作業から解放されて外気に触れながらのんびりとやらせてもらっています。

平日の午前中とはいえ、公園では老人会のゲートホールや保育園の散歩などで利用されていることが多く、時には一緒になってゴミを集めて下さることもあります。また、夏場の暑いときには近所の新聞販売店からジュースの差し入れも何度ありました。こうした地域の方々との触れ合



いは、室内の作業では味わえないものでした。

清掃のプロには程遠い我々ですが、少しでも地域の方々のお役に立つことができるよう、今後とも続けていきたいと思えます。

たんぼぼの家
所長 樋口 徹郎

花とみどりの健康相談

協会では、平成三年度も花とみどりの健康相談を次のような日程で行います。

- 4月7日(日) 5月18日(土)
- 6月1日(土) 7月6日(土)
- 8月3日(土) 9月7日(土)
- 10月5日(土)

4月7日(日)は、家庭緑化の日に併わせ、苗木等無料配布会場となる日野中央公園で、午前10時～午後3時まで受付ます。

5月～10月までは、緑化セントア(日野中央公園南側)にて、午前9時～午前11時40分までの受付となります。なお、11月以降の日程につきましては次号の会報8号でお知らせ致します。

花卉、庭木、菊花とそれぞれの専門家がご相談に応じますので、どんな事でも結構です。お気軽にお越し下さい。

生け垣等で緑豊かな街並みを作ってみませんか!

日野市では市内全域を対象に、塀の生垣化の費用を一部助成し、街並みの緑化をお手伝いしております。

道路に面する部分を対象に

原則として幅四メートル以上の道路に面した新設のものに限られ樹高は八〇センチメートル以上で延長三メートル以上あることが必要です。

助成額の限度

新設の生垣で一メートル当り(三〇メートルを限度)一万円を助成します。プロック塀などを撤去する場合にも一メートル当り六千円を別に助成します。

『緑の羽根』募金運動にご協力をお願いします。

今年も4月1日から5月31日までの期間、市と共催で募金活動が展開されます。毎年関係者皆様方には多大のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。緑の羽根募金は、昭和27年から始まり着実な伸びを示しております。年々東京都内における開発事業は著しく、緑地の確保が大変です。この

日野市緑化推進委員会 開催さる

平成三年二月十九日(火)開かれ、次の事項が検討されました。

- ①緑化計画について
- ②平成三年度春の緑化月間行事について

花の里親・里子運動

協会では、昨年5月1日から協会事業として「花の里親・里子運動」に取り組んでまいりました。

皆様の御支援により、里親、里子の方々も除々にふえ、この春には市内あちこちのご家庭でかれんな花を咲かせてくれることと思います。

市役所本庁にお越しの折には、2階緑化協会にぜひお立ち寄り下さい。季節により、いろいろな種子が取り揃えてあります。

▼編集にあたり▲

小学校六年生を対象とした自然の大切さ、緑についての作文を多数いただきました。各学校の先生方に、ご協力を感謝いたします。

事業に参加された方、又色々お気づきの方は原稿用紙2枚以内にとりまじめ緑化協会事務局までお寄せ下さい。会報に掲載いたします。

